

# 平成25年度 共に子どもを育む学校評価

学校の教育目標 「自ら学び、豊かな心とたくましく生きる力を持つ生徒の育成」

校訓 **自 学** 自ら学び、自己を磨く  
**敬 愛** 自ら考え、礼儀正しく、人を愛し、自然を愛する  
**創 造** 自ら判断し、よりよいものを創りあげる

4段階評価    5 期待以上    4 ほぼ期待どおり    2 やや期待を下回る    1改善を要する

## 宮崎市立加納中学校

### 【自己評価書】

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策
				指導別	総合	
夢実現に向けた確かな学力の定着	生徒指導の三機能を生かした授業、個に応じた指導に努める。	○ 生徒による学校生活に関するアンケートにおいて、毎日の授業は「わかる」「楽しい」が80%以上である。	○ 教材等の工夫 ○ プリント自習の削減 ○ 研究授業の実施 ○ 少人数指導の充実	3.8	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒による学校生活に関するアンケート「毎日の授業はわかりやすく、楽しい」について「そう思う」「ややそう思う」と答えている生徒が、この4年67%⇒78%⇒82%⇒82%と増加傾向の上目標を達成している。しかし、本来授業の分かりやすさの度合いとしては90%以上は必要かと思うので、さらなる授業の工夫改善をしなければならない。</li> <li>○ 生徒による学校生活に関するアンケート「2分前着席や1分前黙想など学習ルールが守れている」については「そう思う」「ややそう思う」と答えている生徒が、本年度は76%とこの4年で初めて前年度より下落した。学習規律として当然あるべき姿であると考えれば昨年度の81%でも高い数値とはいえず生徒の学習委員会活動の充実や教師の継続的指導に取り組んでいきたい。</li> <li>○ キャリア教育の視点から体系的な進路学習を実践しながら、将来の夢を実現するために確かな学力の定着を図っている。各学年で職場体験学習や職業人の講話を実施しており大いに効果をあげている。</li> <li>○ 学力検査や意識調査の結果を分析し、教育相談の充実に関与するとともに、日常的な個別指導に生かしている。夢の実現へのさらなる支援となるように諸検査を有効に活用していきたい。</li> </ul>
	授業における学習規律の周知徹底を図る。	○ 生徒による学校生活に関するアンケートにおいて、「2分前着席」「1分前黙想」など学習ルールが守られているが85%以上である。	○ 準備、2分前着席の徹底 ○ 1分前黙想の徹底 ○ 姿勢、挙手、返事の指導 ○ 発表の推進 ○ 傾聴の徹底	3.7		
	キャリア教育の視点から3か年を見通した進路指導の充実に努める。	○ 1年生で5時間、2年生で8時間、3年生で7時間の体系的な進路学習に取り組む。	○ 進路指導全体計画見直し ○ 進路年間指導計画見直し ○ 職場体験学習の工夫・改善	3.1		
	諸検査の結果分析を行い、有効活用を努める。	○ 学力検査、意識調査の結果を分析し、個別指導や相談に生かす。	○ 学習相談の充実 ○ 個別指導の充実	3.6		

### 【学校関係者評価書】

No.1

評定	学校関係者評価コメント
4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業の進め方にそれぞれ工夫があり、生徒が取り組みやすい改善がされていると思う。</li> <li>○ 参観日の授業の様子を見せてもらった。先生が教科等の工夫をされ生徒にわかりやすく授業をしているのを感じた。</li> <li>○ 本年度はあまり参観日に出席できず、申し訳ありませんでした。アンケートから見ると、生徒たちは真面目に学習に取り組む、先生方も努力されている様子が伺える。</li> <li>○ 研究授業を行ったり、少人数指導をしたりすることで個々に合った授業が展開できているのではないかと思います。</li> <li>○ 加納中の学力の高さは安定しているように思える。</li> <li>○ 家庭での学習時間が昨年より増えたと思うかの問いに減少傾向が。ここを増やすのは課題かもしれない。</li> <li>○ 2分前着席の評価の低さはなぜ必要なのかをどのように生徒に理解させておられるか。⇒【回答 そこをしっかりと押さえて指導していきたい。】</li> <li>○ すぐに授業に入れるように「2分前着席」や「1分前黙想」はとても大切なことだと思う。ベルが鳴ってから行動するのはとてもよいことだ。</li> <li>○ 2分前着席については静・動の切り替えがまだ自覚が足りずにできていないのか。落ち着きは大事である。</li> <li>○ 学習ルールを守ることを引き続きお願いしたい。</li> <li>○ 自分の興味のあることは時間を忘れて取り組めるようだ。</li> <li>○ 夢実現に向けた確かな学力の定着に向かって先生・生徒・保護者について日々努力されている様子が伺える。</li> <li>○ 職場体験や講話などとてもよい経験になる。</li> <li>○ 職場体験活動や夢の実現への支援は卒業生をすでに成人させている身からすると特に素晴らしいことだと思う。本当に遠い未来ではなくあつという間だから。</li> <li>○ 学力検査、意識調査の結果は重要だと思う。</li> </ul>

【自己評価書】

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策
				指導別	総合	
生徒の自主的・自発的な活動の推進	生徒が存在感や成 就感を実感でき る、学級及び学年 づくりに努める。	○ 生徒による学 校生活に関する アンケートにお いて、「学校は生 徒一人一人のよ さや可能性を伸 ばすことに努力 している」が85% 以上である。	○ 生徒一人一人 が活躍できる場 や機会の工夫 ○ 教師の意図的 な仕掛け	3.7	3.6	○ 生徒による学校生活に関するアンケート「学校は生徒一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努力している」について「そう思う」「ややそう思う」と答えている生徒がこの4年72%⇒84%⇒86%⇒90%と順次増加している。生徒は体育大会や合唱コンクールなどの学校行事や生徒会活動、部活動において非常に充実感を抱いている。授業の中で生徒指導の三機能を生かしてきたように日常の学級生活においてもさらに各人の存在感・達成感を味わうことができるようにしたい。  ○ この4年「学校行事の充実」72%⇒80%⇒85%⇒91%「各種委員会の活性化」75%⇒87%⇒89%⇒95%「部活動は活発でいきいきと活動している」84%⇒89%⇒97%⇒90%といずれも高い数値を示している。生徒が活動に参画する時間と場を保証することで成就感・充実感の味わえる学校生活を送りたい。  ○ 保護者による学校生活に関するアンケート「清掃が行き届き、整理整頓されている」について「そう思う」「ややそう思う」という保護者が、昨年度98%と同様本年度も96%と非常に高い数値を示している。宮崎市内では新しい学校であるが築15年を経て不具合も生じており、その美しさを保ちつつ、清掃指導にも力を入れ学習環境の整備に尽力したい。
	生徒会活動の工 夫・改善・充実に 努める。	○ 生徒による学 校生活に関する アンケートにお いて、「学校行事 の充実」や「各 種委員会の活性 化」が85%以上 である。	○ 生徒が参画す る学校行事や専 門委員会の工 夫・改善 ○ ボランティア 活動等の工夫・ 改善	3.6		
	全員部活動顧問体 制で、指導の充実 を図る。	○ 生徒による学 校生活に関する アンケートにお いて、「部活動は 活発でいきいき と活動している か」が90%以上 である。	○ 部活動集会や キャプテン会の 開催 ○ ルールやマナ ーの遵守 ○ 信頼関係の構 築	3.5		
	「無音清掃」の徹 底と美しい潤いの ある教育環境づく りに努める。	○ 保護者による 学校評価アンケ ートにおいて、 「清掃が行き届 き、整理整頓さ れている」が95% 以上である。	○ 清掃の共働体 制 ○ 学級設営の充 実 ○ 生徒作品の掲 示・展示	3.6		

【学校関係者評価書】

評定	学校関係者評価コメント
4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体的には自主的な活動をしているようであるが、活躍の場が不足しているような気がする。</li> <li>○ 「各人の存在感・達成感が実感できること」が何事においても大切なことだと思うので、そう思える数値が高いのはいいことだと思う。</li> <li>○ 体育大会、合唱コンクールでは素晴らしい活動を見せていただき感激した。</li> <li>○ 合唱コンクールはいろいろと学ぶことの多い行事だったと思う。3年生はさすがだった。とても素晴らしかった。</li> <li>○ 授業だけでは味わえない体育大会や合唱コンクールは仲間との絆や達成感を感じられる場だと思う。</li> <li>○ 部活動でルールやマナーを学び各部での活躍が見られた。体育大会での部活動紹介でもいきいきとしている生徒の様子が伺われた。</li> <li>○ 部活動も粘り強さや最後まで頑張りぬく強さを養うことができる。</li> <li>○ 加納中の伝統である生徒による自主的な行事の運営が根付いていると思う。学校行事や部活動において充実していると感じている生徒が多く増えているのは素晴らしい。</li> <li>○ アンケートからも先生方の指導が自分たちの活動する力を伸ばしてくれていると感じさせているのがわかる。</li> <li>○ 生徒の自主的・自発的な活動についても向上している様子だ。今後とも学校生活が楽しくなる様努力してほしい。</li> <li>○ 学校に訪問するたび、清掃が行き届いていること、生徒のあいさつ、展示作品等も指導に力が入っていると感じた。</li> <li>○ 整理整頓されていると思った。</li> <li>○ 学校は比較的新しいこともあり開放的で清潔感が感じられる。また、一人一人が大切に使っている証拠だと思う。</li> <li>○ 学校はきれいだと思う。初めての卒業生が今年30才になる。15年経つのですね。設備等で何か困っていることはありませんか。</li> </ul>

【自己評価書】

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策
				指導別	総合	
豊かな心を育む教育活動の推進	道徳の時間の題材や指導方法等の工夫に努める。	○ 道徳の時間を100%実施するとともに、道徳的実践力を身に付けさせる。	○ 生徒の心に迫る授業の展開 ○ 学年間の共通認識 ○ 資料の共有化	3.3	3.4	<p>○ 道徳の時間は実施率100%であり、各学年での統一資料を準備するなど研鑽に努めた。道徳の時間の題材や指導方法の工夫により生徒の心に迫る道徳の時間に取り組んでいるが、生徒の道徳的実践力が高まっているかにはまだまだ疑問が残る。</p> <p>○ 12月現在生徒一人あたりの年間読書量は6.7冊である。数値目標達成の上、大幅に読書量が増加した昨年度とほぼ同水準であり、読書環境の整備は進んでいる。昨年度大幅に改善された本校の課題である図書室の利用についても本年度はさらにマナーが向上しており静かで充実した図書室環境が実現できている。</p> <p>○ 保護者による学校生活に関するアンケート「生徒一人一人を大切にしている」について「そう思う」「ややそう思う」という保護者が、昨年度87%と同様本年度も88%とよい傾向にある。しかし、実際に良好な人間関係の醸成が図られているかには疑問も残るところでいっそう人権教育や道徳教育に力を入れたい。</p> <p>○ 保護者による学校生活に関するアンケート「生徒の安全や事故防止に配慮している」について「そう思う」「ややそう思う」という保護者が、93%と高い数値を示している。3.11に鑑み、翌年から導入した地震から津波への避難訓練においては、当初の三階への避難から昨年度・本年度と高台である加納公園への避難訓練を実施するなどその充実を図っている。</p>
	読書活動の工夫・充実に努める。	○ 年間読書量一人6冊以上(12月現在)を達成する。	○ 朝の読書の充実 ○ 学校図書館の整備 ○ 生徒一人の読書量の拡大	3.4		
	人権教育の充実を図るとともに、人権感覚の高揚に努める。	○ 保護者による学校評価アンケートにおいて、「生徒一人一人を大切に、認めている」が90%以上である。	○ ソーシャル・スキル・トレーニングの導入 ○ 委員会活動の充実 ○ 情報モラルやメディア教育等の充実	3.3		
	命の尊厳や思いやりの心を育てる活動を充実する。	○ 保護者による学校評価アンケートにおいて、「生徒の安全や事故防止に配慮している」が90%以上である。	○ 避難訓練の充実 ○ 危機回避能力の向上 ○ 教育相談の充実	3.7		

【自己評価書】

【学校関係者評価書】

No.3

評定	学校関係者評価コメント
3.6	<p>○ 「豊かな心」と「人を思いやる心」はつながっていると思うが、残念ながら「人(物)を思いやる心」が足りていないと感じる。</p> <p>○ 道徳の時間の題材、資料の工夫が見られた。道徳授業の内容がどのようなものであるか、保護者には伝わっているのでしょうか。⇒【回答 参観授業は無論のこと、学級通信でも頻繁に紹介している。】</p> <p>○ 勉強や運動だけでなく、いや、それよりもむしろ大切なことだと思う。道徳の時間を活用し、人・動物・物を大切にできる人になってほしい。読書も人間形成においてとても大切なことだと思う。</p> <p>○ 学習指導や学校行事に並行し難しい問題の多いところだ。</p> <p>○ 図書室の利用が増えていると思う。国語だけではなく数学も読む力、理解力ともに読書に通じると思う。</p> <p>○ 図書室には比較的新しい話題の本が入ってきていて少ない(であろうと思われる)予算の中、いろいろと考慮されているんだなあと思う。興味があれば手にとる。そこから始まる「世界」への入口をこの調子で増やしていただければと思う。</p> <p>○ 読書量をさらに上げる環境を整えるという課題は続けていくとよい。</p> <p>○ 思いやりの心を育てることを引き続きお願いしたい。</p> <p>○ 豊かな心を育む教育活動の推進についてすべてのアンケートの結果が向上している。</p> <p>○ ソーシャル・スキル・トレーニングがなぜ必要かと思わせる程、今の社会では勝手に育たない部分なのかも。学校だけではなく、家庭・社会の問題でもあるようで評価しにくい項目である。</p> <p>○ 生徒の安全や事故防止には非常によく取り組まれていることが伺われる。</p> <p>○ 安全に対しては、他人ごとではなく自分たちのこととしてイメージできるよう訓練を重ねていくことが大事だと思う。</p> <p>○ 実際に災害が起きた時の中学生自身のやれることは何だろう。身を守ることは第1位、次に、実は地域の中でとても頼りがいのあるリーダーやボランティアができる存在なのだと思うのだが。</p> <p>○ 人権教育・道徳教育・避難訓練など力を入れてほしい。</p>

【学校関係者評価書】

No.4

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策	評定	学校関係者評価コメント
				指導別	総合			
家庭・地域から信頼される学校づくりの推進	保護者や地域等への情報発信に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校便り、学年・学級通信等を定期的に発行する。</li> <li>○ HPを定期的に更新する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 魅力ある学級学年・学校だより・HPの工夫</li> <li>○ 迅速かつ的確な対応</li> </ul>	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校便りは月に一回以上、学年・学級通信は回数に違いはあっても定期的に発行され、保護者や地域への情報発信に努めている。HPの更新も昨年度より頻繁に行われ作成研修も行ったが、担当者だけでなくいつでも誰でも改正できるシステムを作り上げるまでには至らなかった。</li> <li>○ 各関係機関との密なる協力体制を維持し、特別支援教育や不登校に関わる専門機関とも積極的に連絡をとっている。特に、地域の核としての学校の役割を意識し、地域の各団体とは連携に努めている。例えば、加納地域まちづくり協議会などには出席し、加納地区青少年育成協議会は学校に事務局がおかれている。また、以前より学校から呼びかけて民生委員・児童委員および保護司との会議を行っている。</li> <li>○ かのう in フェスタには中学生も出店での参加をするだけでなく、地域の一員としての参加や準備・片づけへの尽力など全面的に協力している。</li> <li>○ 学校評価は計画的に自己評価・学校関係者評価を行い、年度末に公表することとしている。保護者・地域への開示により、学校運営の改善に努めている。</li> <li>○ 本年度は宮崎市教育委員会指定研究公開を含め、加納小とは年二回授業研究会を行った。昨年以上に合同研究会を実施し、小中一貫教育を推進している。</li> </ul>	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校便りや広報誌などいつも発信をありがとうございます。おかげで学校の様子がよくわかる。犬の散歩などでよく生徒さんたちからはあいさつを返してもらう。感心している。</li> <li>○ 学校便りや学級通信はいつも楽しみにしている。先生方のご苦勞に感謝する。</li> <li>○ 家庭や地域との連携は加納中はとても頑張っていたいている気がする。ただし、昨年もだったのだが、子どもたちが通信を渡しているかのアンケートが昨年よりさらに減へ、ここは改善を求める。</li> <li>○ 地域との連携はよく取り組んでいる学校・生徒だと思う。ただ、家庭を中心に、地域と家庭と学校での連携が足りないような気がする。</li> <li>○ 保護者アンケートから何う項目⑫⑬⑭⑯評価2が多く、より保護者自身の子供へのはぐくみ、しつけ、親子関係のコミュニケーション不足が感じられる。</li> <li>○ 情報発信、関係諸機関との連携、地域行事への参加等活発に行われている。</li> <li>○ かのう in フェスタも中学校・小学校交互に場所を提供し、地域とのコミュニケーションの場になっている。これからも続けていってほしい。</li> <li>○ 小中一貫教育に係る研究公開を参観したが、生徒達の積極的な発表は素晴らしかった。</li> <li>○ 研究会は見に行けなかったのだが、とても有意義だったと聞いている。</li> <li>○ 加納小と連携することで9年間を通して子どもたちの成長がわかると思った。中学時代に心配だということも含めて見ていると、加納中の生徒は随分大人だと感じられて素敵だなと思う。</li> <li>○ 家庭・地域から信頼される学校づくりの推進についても、日々努力されている。私たちも協力していきたいと思う。</li> </ul>
	関係諸機関との連携を図り、協力体制の確立に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会合への参加、協議会の実施を推進する。</li> <li>○ かのう in フェスタへの職員・生徒の積極的な参加を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加納地域まちづくり協議会、青少年育成協議会、民生委員・児童委員協議会等との連携</li> </ul>	3.7				
	学校関係者評価を活用し、学校運営の改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度末に自己評価並びに学校関係者評価を実施し、保護者・地域の方々への公表を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評価項目やアンケート等の工夫・改善</li> <li>○ 意見交換会の実施</li> <li>○ 評価結果の公表</li> </ul>	3.8				
	加納小と連携し、9か年を見通した一貫指導に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中一貫教育に係る研究公開に向けて、教育活動を充実させながら児童生徒の豊かな心の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合同研修会や研究授業の充実</li> <li>○ 研究公開への対応</li> </ul>	3.8				

【自己評価書】

○ 次年度の方向性についての校長所見

本年度、11月20日宮崎市教育委員会指定研究学校研究公開を行い、加納小学校との2年間の研究の成果を発表した。生活面での連携を下支えとして学力向上のため、小中一貫教育による生徒指導の三機能を生かした授業の構築に取り組んできたが、児童・生徒は自己存在感を味わいながら共感的な人間関係の中で日々の授業や学校生活を楽しく過ごしてきたのではないかと考える。学力向上では生徒指導の三機能を生かしながら、夢に出会う機会を企画し夢をつかませることに焦点をあてた教育の中で、夢の実現を可能とする方向性を踏襲している。これからも小中連携による研究主題「豊かな心を持ち、自ら進んで思考・判断・表現できる児童・生徒の育成」を期して、生きる力の育成に小学校とともに尽力していくことが必要である。

生徒指導面でも数値的には非常に良好であるが、家庭生活での厳しい現実や状況によっては学校生活での人間関係における好ましくない状態もあり得る。よって、次年度も夢を追う学力向上とともに、生徒の自主的な活動による学校生活の充実と豊かな心の育成に家庭・地域との連携を図って取り組んでいきたい。

【学校関係者評価書】

1 本年度の取組について

- 学校の自己評価が適切に行われており、特記するまでもありませんが、一言だけ言わせて頂けるならば生徒たちの「覇気」がほしいように思われる。
- すべて期待どおり以上で、よく取り組まれていると思う。
- まさにその通りだと思う。特に「生きる力の育成」について、どんな小さな出来事でも無駄ではないことをわかってほしいと思う。
- すばらしい。
- 本年度は参観日などへの私自身の参加がほとんどできず申し訳なかった。アンケートやたまの行事参加からはちゃんと取り組んでいる様子が伺える。
- 小中一貫教育としての研究授業はとてもよい経験になったと思う。
- 昨年の学校評価を生かしていただいているのがよくわかる。三年間はあつという間だが、大切な人生の岐路、子どもたちに結果はすぐに判断できないが、先生方の努力は必ず実を結んでいると思う。

2 次年度への改善に向けて

- 更に家庭・地域と連携を強めて「人間力」のある生徒へ育てていきましょう。
- 夢に出会う機会を増やしつつ、実現可能にしていきたいと思う。
- 現状を維持してほしい。また、向上するように努力してほしい。
- ただ成績を上げる取組ではなく、夢に向かっての取組を目標にしているのは素晴らしいと思う。
- 家庭学習と読書量を更に増やすことを課題に。静と動（ON、OFF）の切り替え訓練。家庭に通信が必ず渡されるように。

